平成２３年度　教育委員会点検・評価報告書　　教育総務部　教育政策推進課

基本方針	①　共に学び、多くの人とかかわり合いながら自立する子どもを育成します		
施策の柱	⑤　一人ひとりのニーズに対する教育の推進		
実施事業名	４　中学校学習支援事業		
当初予算額	２，２８５千円	執行額	２，５２２千円
予算現額	２，５２２千円	執行率	１００％

１．目的
- 開かれた学校づくりに寄与した生徒の学習習慣のきっかけづくり
- 生徒の基礎的・基本的な学力の定着

２．平成２３年度の取組みの概要
- 全１９中学校のうち、１５校において、放課後や夏季休業中に「学習指導員」による学習支援を行った。（平成２４年度からは全１９中学校で実施）
- 学習指導員は地域の人材、教員経験者、非常勤講師などから校長が選任。ほとんどが教員免許所有者か取得を目指している者。
- １校あたりの配当時間数は１６０時間
  例）１回２時間、学習指導員が２名で見る場合には年間で４０日分

３．進捗状況
- 実施延べ回数　１，００５回　　参加延べ生徒数　５，３３１人
- 学習会の持ち方も学校ごとに様々であり、全校生徒に呼びかけて誰でも参加できる形態をとるところもあれば、個別に呼びかけをして少人数による取組をする学校など、それぞれの状況に応じた形態で実施している。

４．効果・成果→別紙参照

５．課題・問題点
- 学習指導員の人材確保
- 新教育課程の実施により、放課後の十分な時間数の確保が困難
- 目的の一つである「学習習慣のきっかけづくり」になっているかについての検証

６．課題・問題点に対する今後の対応
- 学校支援コーディネーターを活用するなど、地域からも幅広く人材を確保するよう努める。
- 基礎学力の定着のため、長期休業中に集中的に実施するなど、実施方法を工夫する。
- 生徒へのアンケートや学校へのより詳しい聞き取りにより、事業が学習習慣のきっかけづくりになっているか検証し、事業内容の充実を図る。

４．効果・成果

１．中学校学習支援事業　生徒アンケート　集約結果（抜粋）

アンケート期間　２０１２年1月１３日～2月２４日
対象者　　市内実施校１５中学校の学習支援事業参加者
回答者数　　１６７人

問１　あなたがこの学習会に参加したきっかけはどんなことですか？あてはまる数字に〇をつけてください。

①	自分から参加したいと思ったから	４８．５％
②	先生に勧められたから	２３．４％
③	友だちが参加するから	１５．６％
④	親（保護者）に言われたから	１０．２％
⑤	その他（　　）	０．６％

問２　あなたはこの学習会に参加してみて、どう感じていますか？〇をつけてください。

①	役に立っている→問Aへ	９５．８％
②	役に立っていない→問Bへ	３．８％

問A　どんなところが役に立っていますか？ 自由に書いてください。

主な記述

・わからなかった問題がわかるようになった。	６０人
・説明がわかりやすい	１７人
・集中できる	１３人
・わからないところを詳しく聞ける	１１人
・すぐに質問できる。	４人
・学校だとやる気が出る。	３人
・自分に合った問題集などを渡してくれるので、頭に入り、力がついた。	１人
・わからないところが多い英語と数学でやってくれたので良かった。	１人
・授業前後で先生に質問しても、10分しかないのでよくわからないままになってしまうのでありがたい。	１人

２．指導内容や気づいたこと等（学習指導員からの報告書より）

・数学基礎問題演習・英語の基本問題演習・英単語の読み方・英語基礎からの復習
・復習を主としたプリント学習（夏休みにはいるのは嫌だ、続けたいとの声も）
・文法以前に単語１つ１つの意味を理解していない生徒がいたので辞書の引き方から指導した。
・３時半に帰ろうとしたら数学をやりたい生徒が来て５時までみてあげた。３年生になり、１、２年生の時と今は違うと言っていた。私も嬉しかった。

評価

〇アンケートの結果、事業について一定の効果が認められた。
〇報告書によると、同じ生徒が連続して学習会に参加しており、その意味では学習習慣のきっかけ作りに役立っている。
〇学習指導員の報告書からも、基礎基本の充実に向けて指導が行われている様子がうかがわれる